

## 令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の 諸課題に関する調査の結果について

本調査は児童生徒の問題行動等について、全国の状況を調査・分析することにより、教育現場における児童生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、本調査を通じて実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応につなげていくものです。この度、本調査の全国・県の結果が公表されたことを受け、本市の調査結果について報告します。

### 1 調査の概要

- (1) 調査内容  
・暴力行為の状況 ・いじめの状況等 ・長期欠席の状況等
- (2) 実施時期 2021年4月
- (3) 調査対象 全市立小・中学校児童生徒

	校種	対象学校数	対象人数
全国 (国立・私立を含む)	小学校	19,651校	6,333,716人
	中学校	10,324校	3,244,958人
神奈川県	小学校	856校	443,921人
	中学校	412校	200,541人
藤沢市	小学校	35校	23,234人
	中学校	19校	10,558人

- (4) 調査・回収方法  
各学校で回答し、記入後、市教育委員会が回収し神奈川県教育委員会に提出する。その後、各都道府県教育委員会等から提出された調査票に基づいて、文部科学省が集計する。

## 2 藤沢市の状況

### ◇ 暴力行為の状況（H30～R2）

#### 【暴力の定義】

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為」をいう。

小学校	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	校数	件数	校数	件数	校数	件数
対教師暴力	9	41	11	101	12	58
児童間暴力	13	115	21	319	21	175
対人暴力	2	4	0	0	1	1
器物損壊	6	6	10	28	10	22
合計件数	166件		448件		256件	

中学校	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	校数	件数	校数	件数	校数	件数
対教師暴力	2	7	2	62	3	76
生徒間暴力	15	97	15	92	12	49
対人暴力	1	1	0	0	1	1
器物損壊	8	20	8	18	4	13
合計件数	125件		172件		139件	

小・中計	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	291件		620件		395件	
	291件		620件		395件	

◇ いじめの状況（H30～R2）

【いじめの定義】

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む）であって、当該行為の対象となった当該児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」（いじめ防止対策推進法）とする。

《小学校》

	認知件数	解 消	取組中	転学等
平成30年度	668	571	96	1
令和元年度	677	628	48	1
令和2年度	642	588	54	0

《中学校》

	認知件数	解 消	取組中	転学等
平成30年度	143	123	20	0
令和元年度	131	117	14	0
令和2年度	123	114	9	0

《合 計》

	認知件数	解 消	取組中	転学等
平成30年度	811	694	116	1
令和元年度	808	745	62	1
令和2年度	765	702	63	0

○学校で把握したいじめの態様別件数（複数回答）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
冷やかし・からかい 悪口・脅し文句	小	400件	388件	289件
	中	78件	84件	51件
仲間はずれ 集団による無視	小	69件	106件	126件
	中	24件	26件	10件
軽い暴力	小	116件	123件	111件
	中	19件	18件	12件
ひどい暴力	小	30件	32件	21件
	中	0件	4件	7件
金品をたかる	小	5件	7件	6件
	中	1件	0件	2件
金品を隠す・盗む 壊す・捨てる	小	26件	58件	59件
	中	1件	1件	2件
いやなことをされる いやなことをさせられる	小	31件	22件	54件
	中	13件	6件	8件
パソコンや携帯電話 による誹謗中傷	小	9件	13件	25件
	中	19件	26件	23件

◇ 不登校の状況（H30～R2）

【不登校の定義】

「不登校」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」、「新型コロナウイルスの感染回避」による者を除く。）の数。

《小学校》

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
平成30年度	9	19	20	43	35	60	186
令和元年度	18	20	21	34	55	53	201
令和2年度	12	34	37	36	59	74	252

《中学校》

	1年	2年	3年	合計
平成30年度	113	155	164	432
令和元年度	129	181	185	495
令和2年度	117	178	209	504

《合計》

	小学校	中学校	合計
平成30年度	186	432	618
令和元年度	201	495	696
令和2年度	252	504	756

《不登校の要因》（R1～R2）

※令和元年度より、「主たるもの」（1人1つ必ず選択）と「主たるもの以外にも当てはまるもの」（1人2つまで選択可）という回答様式に変更されたため、令和元年度との比較となっております。

	小学校				中学校			
	主たるもの		主たるもの以外にも当てはまるもの		主たるもの		主たるもの以外にも当てはまるもの	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
いじめ	0人	2人	1人	1人	0人	0人	4人	1人
いじめを除く友人関係の問題	22人	27人	11人	7人	75人	45人	25人	9人
教職員との関係	10人	3人	4人	7人	5人	1人	2人	0人
学業の不振	6人	6人	16人	18人	41人	35人	33人	4人
進路に係る不安	2人	1人	0人	2人	3人	7人	9人	2人
クラブ活動・部活動への不適應	0人	0人	0人	0人	5人	8人	7人	1人
学校の決まり等をめぐる問題	0人	2人	5人	1人	0人	3人	0人	3人
入学・転入・進級時の不適應	3人	7人	3人	0人	6人	12人	5人	0人
家庭の生活環境の急激な変化	8人	10人	4人	0人	14人	13人	5人	3人
親子の関わり方	32人	51人	40人	30人	32人	15人	18人	13人
家庭内の不和	4人	7人	3人	6人	12人	19人	15人	3人
生活リズムの乱れ、あそび、非行	26人	24人	17人	25人	38人	46人	14人	6人
無気力、不安	64人	89人	20人	17人	228人	217人	35人	3人
上記に該当なし	24人	23人	2人		36人	83人		

### 3 全国・神奈川県の場合 (R2)

#### ◇ 暴力行為の状況 (対教師・生徒間・対人・器物損壊の総数)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	256 (前年比 192 ↓)	6,054 (前年比 890 ↓)	41,056 (前年比 2,558 ↓)
中学校	139 (前年比 33 ↓)	1,714 (前年比 1,429 ↓)	21,293 (前年比 7,225 ↓)

#### 児童生徒1,000人あたりの発生件数 (藤沢市との比較)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	11.0件	13.6件	6.5件
中学校	13.2件	8.5件	6.6件

#### ◇ いじめの状況 (認知件数)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	642 (前年比 35 ↓)	19,287 (前年比 3,495 ↓)	420,897 (前年比 63,648 ↓)
中学校	123 (前年比 8 ↓)	3,619 (前年比 1,495 ↓)	80,877 (前年比 25,647 ↓)

#### 児童生徒1,000人あたりの認知件数 (藤沢市との比較)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	27.6件	43.4件	66.5件
中学校	11.6件	18.0件	24.9件

#### ◇ 不登校の状況

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	252 (前年比 51 ↑)	5,126 (前年比 548 ↑)	63,350 (前年比 10,000 ↑)
中学校	504 (前年比 9 ↑)	9,141 (前年比 429 ↓)	132,777 (前年比 4,855 ↑)

#### 児童生徒1,000人あたりの発生人数 (藤沢市との比較)

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	10.8人	11.5人	10.0人
中学校	47.7人	45.6人	40.9人